



NPO法人 札幌チャレンジド

ITでマザル、ハタラク、拓き合う。

中期経営計画2024

(2022年～2024年)

中期経営計画2024 (2022年~2024年)

◆団体理念◆

**自立を目指すチャレンジド（障害がある方）が
「ITでマザル・ハタラク・拓き合う」社会を創ります**

◆経営理念◆

- 1. 社会的価値を実現する（社会性の追求）**
- 2. 事業を興してお金の循環を生み出しながら活動する（事業性の追求）**
- 3. 常に時代を先取る革新的なことに挑戦する（革新性の追求）**

中期経営計画2024 (2022年～2024年)

◆ 中期経営計画の基本的考え方・背景 ◆

- 札幌チャレンジドでは、3年ごとに中期経営計画を定めています。中期経営計画は、3年間の活動の指針となるものです。
- 札幌チャレンジドは、『パソコンやインターネットが障がいのある人にとって社会参加や働くことにきっと役に立つ！』との思いから2000年にスタートしました。
- 目の前にいるその人に寄り添い、その人にとって必要なことを考え、できることをやっていくことを大切にしています。
- 障がいのある人がICTを活用することで、困りごとを解決したり、能力を発揮し、一人ひとりが自分らしく生きていける社会を創っていきます。
- 長引くコロナ禍により各事業は様々な影響を受けています。またコロナによって社会情勢が大きく変化しています。
- このような状況に対しても持続可能な組織運営を行う為に、従来から取り組んでいる社会課題解決の質を高め、深掘りしていきます。

<視点1> 社会のニーズを見極める

<視点2> ニーズ視点から連携を深める

<視点3> 独自性を磨く

中期経営計画2024 視点1

コロナ禍により社会のニーズが変化している。それらの変化を敏感に捉え、適応していく必要がある。

《社会のニーズを見極める》

- ◆テレワークニーズの拡大
- ◆就職支援ニーズの変化
- ◆パソコン系放課後デイの増加
- ◆子どもたちへのキャリアデザインニーズの拡大

中期経営計画2024 視点2

札幌チャレンジドの各事業単体へのニーズからよりつながった支援、サービスが求められている。

《社会のニーズから連携を深める》

- ◆就労・就職につながる長期的な訓練
- ◆働ける時間の長さや場所への対応
- ◆高校卒業後の進路としての札幌チャレンジド
- ◆高等支援学校、教育委員会との協働

中期経営計画2024 視点3

NPOとして、札幌チャレンジドしかやっていないこと、札幌チャレンジドならではの活動をするのが札幌チャレンジドの大きな存在意義である。

《独自性を磨く》

- ◆オンリーワンとして道内全域のテレワーク機会の拡大
- ◆定着率が極めて高い就職訓練の維持・向上
- ◆キャリアデザインを意識した放課後デイカリキュラムの確立
- ◆全障テレネット、教育機関、企業、様々な外部機関との具体的な連携の拡大(全国的な活動も視野に)

中期経営計画2024 重点ACTIONプラン

1. 世の中にまだ無い新たなタイプの就労継続支援事業所の開設（カレッジ型就労継続支援）
→ 2023年4月目標
2. 高等支援学校からの実習生の受け入れ拡大（移行・就労）
3. 視覚障がい者支援（PC講習・就職支援）の継続・充実
4. 放課後デイのコース設定（興味探求コース・キャリアデザインコース） → 2022年度中

中期経営計画2024 重点ACTIONプラン

5. **A型事業における新規分野開拓（アノテーション、メタバース等）**
6. **福祉を学ぶ大学生の現場実習機会の拡大（移行・放課後デイ）**
7. **高等支援学校のインターンシップ・訪問講習の継続実施（就労・講習）**
8. **放課後デイの療育的側面の充実に向けた研修・支援機関との連携強化**
9. **視覚障がい者の就職支援の為の新たな枠組みの設立**

中期経営計画2024 広報ACTIONプラン

札幌チャレンジドは各事業におけるステークホルダーとの関係を良好に保つために、様々な情報を広く報じる『広報活動』を強化します。

1. ステークホルダーを、札幌チャレ共通/各グループ毎に明確にします。
2. ステークホルダーのニーズに合った情報を分かりやすく提供します。
3. 新たな媒体も活用して広報します。
4. 情報毎に提供者を設定し双方向のコミュニケーションを密にします。
5. 広報結果を分析し改善していきます。

中期経営計画2024 広報ACTIONプラン

≪中経2024 広報≫

『広報1』 札チャレの活動を 少ない媒体で多くのステークホルダーに届ける

【STEP 1】： 札チャレ通信 四季号（仮称） の発行

- ◆対象者 : ナカポツ/相談室/学校
⇒ 札チャレの活動を必要としている方 向け
- ◆内容 : ①札チャレの活動内容/特徴
(各グループ活動TOPICS/実習・体験・インターンシップ/視覚障がい者支援/etc.)
②NEWS的話材
(社会ニーズ/ニーズからの連携/独自性/イベント案内/NewB/etc.)
- ◆提供媒体 : ペーパー情報（B4二つ折り4P程度）当初は訪問提供
- ◆発行サイクル : 年4回（春号・夏号・秋号・冬号）

【STEP 2】： 札チャレ通信 Movie（仮称） 動画版発行

- ◆対象者 : HP閲覧者すべて
- ◆内容 : 札チャレの各事業活動/イベント風景/業務・講習風景/etc.
- ◆提供媒体 : HP上での動画/YouTube
- ◆発行サイクル : 年4回程度

中期経営計画2024～収支計画～

	2022年	2023年	2024年
就労支援事業A型	65,500	50,700	50,800
就労支援事業B型	0	13,600	17,000
就職・定着支援事業	22,500	25,000	25,000
放課後デイ事業	15,500	17,200	17,200
就労収入	32,000	32,000	36,000
本部事業収入	5,000	5,500	6,000
収入合計	140,500	144,000	152,000
費用合計	145,500	147,000	150,000
収支	-5,000	-3,000	2,000

(単位:千円)

【概要説明】

2022年度は、コロナの影響で2021年度に移行支援及び放課後デイの新規利用者が少ないことと2023年度の新規事業開始に向けた要員増による費用増等があり、約500万円のマイナス収支見込みとなる。

2023年度は、新たなB型事業所を開設するが、利用者が一定程度まで増えるまでは、収支は厳しく約300万円のマイナス収支見込みとなる。

2024年度になりB型事業所の利用者が一定程度まで増えることで全体としてほぼイーブンの収支を見込んでいる。

この3年間で見ると赤字計画になっているが、前年度までの蓄積を投資することで社会課題解決の幅を拡げていく先行投資の3年間である。

経済面が成り立たないと組織として持続可能ではないが、組織として存在意義を追求していくことこそNPOの価値であり、社会性と事業性を両立させるために投資と蓄積を循環させていく。

中期経営計画2024～SDGs～



<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> <p>ITでマザル、ハタラク、拓き合う社会を創ります</p> <p>☆ 道内唯一のキャリアデザインセンターを目指します。 ☆ 就労継続支援では、在宅就労（テレワーク）を推進しています。 ☆ 就労移行支援では、視覚障がいの人への専門的な就職支援も実施しています。</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> <p>障がいのある中高生から大人まで人材育成に寄与します</p> <p>☆ 放課後等デイサービスでは、パソコン学習を通して自信を身に付けます。療育の質を高め、子どもたちの将来につなげます。 ☆ 就労移行支援では、パソコンとコミュニケーションのスキルをしっかりと受講することでスキルを身に付け、高い就職率を実現しています。</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p> <p>社会的企業として事業を通じて社会課題の解決に貢献します</p> <p>☆ 就労継続支援では、一人ひとりに合った働き方を実現します。各種データ入力、動画監視、Webアクセシビリティチェックなど一般企業の業務を受託しています。 ☆ 就労定着支援では、企業に永く勤められるように定期的に相談支援を実施しています。</p>
<p>10 人や国の不平等をなくそう</p> <p>障がいのある人への合理的配慮を実践&推進していきます</p> <p>☆ 障がい種別を問わず、身体・精神・発達・軽度の知的障がい・難病等の人々が利用しています。 ☆ 毎日の利用のために全ての障がい特性に配慮した環境整備をしています。</p>	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>企業、行政、NPO、ボランティアなど多様な組織・人と連携します</p> <p>☆ 札幌市障がい者ICTサポートセンター事業、北海道との官民連携事業、北海道教育厅との連携など行政との連携を進めています。 ☆ 就労継続支援では、10社程度の企業から定期的に業務を受託し、win-winの関係を構築しています。</p>	<p> SDGs(SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS)とは</p> <p>☆ SDGs(持続可能な開発目標)は、2015年9月に国連で採択された17の目標と169のターゲットからなります。2030年までに達成すべき目標として、地球規模の優先課題や世界のあるべき姿を明らかにしています。</p>

※ 上記内容はあくまで一例です。札幌チャレンジドではその他多くの視点からSDGsに貢献していきます。

(2022年4月版)

中期経営計画2024

特定非営利活動法人（NPO法人）

札幌チャレンジド

〒060-0807

札幌市北区北7条西6丁目1番地 北苑（ホイン）ビル2階



NPO法人 札幌チャレンジド

ITでマサル、ハタラク、拓き合う。

TEL : 011-769-0843 / FAX : 011-769-0842

営業時間 : 月曜日～金曜日 午前9 : 30～午後5 : 30

※放課後等デイサービスは午後2 : 30～午後6 : 30

Mail: challenged@s-challenged.jp

URL: <https://s-challenged.jp/>

facebook: [sapporochallenged.mixcom](https://www.facebook.com/sapporochallenged.mixcom)